

単孔式腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術における斜視鏡の視野方向についての研究  
(論文名：Optimal viewing direction of the oblique laparoscope in single incision laparoscopic percutaneous extraperitoneal closure for inguinal hernia)

## 1. 研究の目的

単一の手術創で行う鼠径ヘルニアの腹腔鏡手術は、鉗子と腹腔鏡が干渉（衝突して思い通りに動かせない状態）しやすく、難しい手術です。斜視鏡といって細長いスコープの軸から30°程度斜めの方向を見る事ができる腹腔鏡を使用します。実際の手術において、この斜視鏡の視野の向きを調査し、干渉を回避するための最適な腹腔鏡操作について検討します。

## 2. 研究の方法

対象：2016年4月から2017年4月までに群馬県立小児医療センター小児外科で単孔式腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術を実施した方

方法：過去の診療記録と、手術中の映像記録等をもとに調査を行います。

## 3. 情報の公表

研究結果は Journal of Laparoendoscopic & Advanced Surgical Techniques という学術雑誌に投稿し、論文として公開される予定です。

患者様の個人情報公表されることはありません。

## 4. 研究実施機関およびお問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

群馬県立小児医療センター 小児外科 高澤慎也

住所：〒377377 -8577 8577 群馬県渋川市北橘町下箱田 779 779 番地

電話：02790279 -52 -3551